

代表挨拶

アポロ月着陸から 55 年を経て、月への有人ミッションアルテミス計画や、民間の主導する月や火星への持続的有人活動などが議論され実行される状況になっています。

この勉強会は、2017 年ごろから、国際団体であるムーンビレッジアソシエーション (MVA) の開催する国際ワークショップ開催 (東京 2019, 倉敷鳥取 2023) の関係者のみなさんと、その周辺のサークルを中心に、月や火星に人類社会を作ること想定した大きなコンセプトや課題について議論の場を作り、毎回話題提供者を招いて意見交換をすることを目的に活動してきました。ボランティア運営による自由な議論のためのサロンのプラットフォームを目指しています。

2010 年代当時は、まだ国や民間の月を巡る多くの活動が本格化する途上で、勉強会は、持続的に宇宙で人が活動し、社会を構築するときの議論はかくあるべし、と、経済性や事業性、法制度的、経済的、ライフサイエンス的、技術的、倫理・哲学的、および文化人類学的などの意味で考えてみよう、というような精神で始めました。

一方で、現在では国や民間の主導で多くの月探査の将来や資源開発や利用などを見据えた本格的な研究活動や無人有人の多くのプロジェクトが現実 to 構想され実行されるに至っています。この勉強会で議論すべきテーマも、これらの現実 to 動いている活動の進展との関係も踏まえて変わっていくべきでしょう。

より未来志向で人類の宇宙進出に関わる本質的な話題について、この分野にご関心のあるみなさんと、想像力を逞しくして、人類の宇宙進出の未来に向けて自由に議論できるようなプラットフォームにしたいと思います。

稲谷芳文 (勉強会代表)